

家族から離れて暮らし、
家族を求め続ける子ども達のものがたり



映画上映会 お知らせ

『家族づくり 子どもたちと里親の1年』

大阪のある里親家庭の1年間を丁寧に追ったドキュメンタリー。里親家庭の紹介だけでなく、親と離れて暮らす子どもの心のひだを拾い上げ、家族とは何か、子どもにとって親とは何か等考えさせられる作品です。2015年作品。



こんにちは。千葉市内の児童養護施設職員、児童福祉施設に付置された子育て相談機関・児童家庭支援センター、そしてNPO法人ちばこどもおうえんだんが協働して千葉市内で里親制度啓発活動を行ってまいりました。活動のひとつに、里親制度をより身近に知っていただくため、市内各地で小さな映画会を開催しています。この度、緑区でも鎌取コミュニティセンターをお借りしての上映会を開くこととなりました。

児童養護施設には、さまざまな理由で家族と暮らすことのできない2歳から18歳（場合によっては20歳）までの子ども達が生活しています。乳児院では、その前のおおよそ2歳くらいまでの乳幼児が養育されています。同じように実の家族と暮らすことのできない子ども達の中には、数少ないですが、地域の普通の家庭に預けられ暮らしている子ども達もいます。それが里親家庭で、映画ではこうした里親家庭のある1年が丁寧に描かれています。

今の日本で、施設や里親家庭で暮らしている子ども達は、約3万6,000人、2,000万人近くいる全児童数に比べると、ほんの一握りです。気持ちを代弁してくれる大人もほとんどいない中で、子ども達の声や気持ちは知られることなく、埋もれているのです。

この映画をご覧くださいことで、皆さんに少しでも子ども達のことを知っていただきたいと思いました。『社会的養護の子ども』というだけでなく、一人一人の子どもとして知り合ってもらいたいな。そして、映画の後にでも、家族について、子ども達の今やこれからについて、皆さんと少しお話する機会が持てれば幸いです。お忙しいとは思いますが、多くの皆さまの参加をお待ちしております。

記

日時： **2018年3月10日（土） 13:00～15:00**

会場： **鎌取コミュニティセンター 2F 会議室・講習室**

内容： 13:05～13:50 DVD映画上映
13:50～15:00 施設や里親家庭で暮らす子ども達の現状を説明 + 質疑応答

参加費： 無料 先着50名まで（申し訳ありませんが、50人で締め切らせていただきます）

主催： 千葉市里親家庭支援事業委員会（児童養護施設・児童家庭支援センター・ちばこどもおうえんだん）

問合せ： 児童養護施設 房総双葉学園 里親支援専門相談員 野村恵美

☎ 043-251-2612 FAX 043-255-6798

sato-futaba@mbr.nifty.com

電話、メールまたはFAXにてお申込みください。

房総双葉学園

野村宛

氏名	連絡先（電話番号）	所属（案内配布先）

